



吹田市議会議員

か み や ソ ウ ヘ イ

神 谷 宗 幣



議会でこんな事業が発表されました

学校問題解決支援事業

教育問題は様々なものがあり、中には学校における相談体制や教職員だけでは解決困難なものがあります。本事業は専門的な知識や経験を持った学識経験者が、教育問題解決の初期対応を行い、学校を支援することで、保護者・地域の方々の学校に対する声を可能な限り受け止め、対応ができる体制の構築を目指したものの。

子供サポートチーム事業

本事業は、学校教育現場におけるいじめ・不登校・児童虐待など個別課題を有する児童・生徒への支援のために、スクールソーシャルワーカーやアドバイザー、専任指導主事サポートチームを編成し、生徒指導体制の実効性・機能性をたかめ、支援していくもの。

小3生と中3生の35学級

小学校3年生と中学校3年生の35人学級は、平成20、21年度は小学校2校と中学校2校、平成22、23年度は小学校4校と中学校4校をモデル校として実施していく



3月議会での一般質問

【問い】 本市には約120名の給食調理員の職員がおり、年次休暇などを抜いた実働日数は219日、年間で給食を作る日は191日しかない。給食を作らない期間、調理員の方々は何をされているのか。また、調理員は28日の年休などを消化した上で、病気休暇が何回でも取れると聞いたが、調理員の病休取得の実態について聞きたい。さらに、調理員の平均人件費を（年休等をすべて消化した前提で）計算してみたところ、時間当たり約4500円という数字が出た。市民感情を考えると、民間委託を検討すべきではないか。その場合どのくらい経費が削減できるのか。

【答弁】 給食を作らない食の安全確保に努めるための衛生研修や新しい給食メニューなどの試作を行う調理実習、労働安全研修や環境整備、清掃、機器類の点検を行っている。病気休暇取得については、平成18年度の取得者は15名で、取得日数の最長の者は合計で88.5日（一人平均約27日）。1週間未満の病気休暇については、医師の診断書を添付せず取得できる。民間委託した場合の経費は、概算で積算すると7億5千万円。18年度の経費が10億2506万円かかっているの、2億7000万ほどの削減になると推測する。

【要望】 調理員の民間委託を検討し、そこで浮いた予算は財政再建に当てるのではなく、低学年補助者や読書活動の支援者、または、小学校の英語専任教員を雇用したり、休みなく部活指導しておられる先生方の部活動指導奨励金を創設したり、学校の修繕改築費など、より市民に喜ばれる教育行政施策に当てることを要望する。（他の質問は裏面をご覧ください）

神谷 宗幣（かみや ソウヘイ）： 昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ
福井県立若狭高等学校卒。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の地方統一選挙で吹田市議会議員に初当選。

「変えよう！若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中！

3月議会での一般質問の要旨

【質問】 日本の食料自給率が低迷を続ける中、アメリカが始めているように、戦略的に農業や水産業を担う優秀な人材を育てる必要がある。そのために平和学習で「広島」「沖縄」に行く現行の修学旅行を見直し、漁業体験・農業体験などの自然体験学習をとりいれ、子供達に有意義な学びの契機と動機を与える必要があると考える。市の意見を聞きたい。

【答弁】 修学旅行の行き先については、児童生徒の実態を踏まえ、各学校の教育課程の中で適切に決められていると捉えている。今後も、修学旅行などの体験学習は、児童生徒の社会性や豊かな心を育む取り組みとなるよう研究していく。

【質問】 低学年教員補助者とは、小学校の低学年学級に配置される教員等の資格を持った補助者のこと。他市にはない取り組みであり、義務教育スタートの時期に多くの大人が子供達に規律や躾を教える大変有意義な活動で、学校現場でも好評である。しかし現在の補助者の配置時間は12時半までで、子供達の給食指導力カバーできていない。せめて30分延長し給食の時間をカバーすれば、食育推進にも繋がり、教育効果が高いと考えるが、市の見解は。

【答弁】 補助者配置は、保護者からも高い評価を得ているが、勤務時間については、給食指導や下校時への対応など課題を残している。今後も厳しい財政状況を勘案しながら、関係部局と協議を重ねていく。

【質問】 ガンバ大阪は、吹田の子供達と交流し夢を与えてくれている。そんなガンバの応援と吹田市の観光推進のため、ゴミ収集車にガンバボーイを掲載したり、市内の私鉄の駅の壁にも市が音頭をとってガンバボーイの絵を描いてもらうなどして、「吹田はガンバ大阪の町だ」ともっとアピールすべきではないか。また、ガンバ大阪のホームである万博記念球場はもともと陸上競技場であり収容人数も限られているため、球場の改装・移転が必要と考えるが、市として夢のあるプランは提言できないか。

【答弁】 ガンバとの連携はまだまだ不十分と認識している。議員の提案を踏まえて、ガンバ大阪がわが町吹田のチームとして、より市民に愛されるよう、アピール方法を検討していく。改装・移転については、費用面からかなり困難である。しかし、ガンバ支援のための夢のある方策は今後検討していく。

【意見】 若者の政治離れが深刻で、20代では3人に1人しか投票に行かないという統計がある。このまま若者が政治に無関心であっては、市長が施政方針で述べられた、地方分権のものと「市民政府、地域政府」など実現不可能ではないか。今回インターンで来ている学生達の2ヶ月間の成長を見ていると、学生時代に政治を自分達の問題として捉えられる契機さえ与えれば、多くの若者が政治に参加してくれるようになるのではないかと考える。実際に、立命館大学では「知事リレー講義」、三重県議会では「みえ県議会出前講座」などで、若者の政治への関心を啓発している。本市には、多くの大学や小中高校があるのであるから、市長や我々議員も学生に生の声を届けてはどうか。講義するのは大変だが、教育現場の現状や問題が分かり、よりの射た教育施策を考えることもできるのではないかと。

1年間の一般質問のテーマ

平成19年 7月議会

- ・市長の人材育成構想を問う
- ・学校問題解決の第三者機関の創設を提言
- ・教育現場の人員不足の改善
- ・学校施設の老朽化に対し改装を求める
- ・市長の提案する「こども育成条例」とは

平成19年 9月議会

- ・平和教育のあり方について
- ・35人学級の促進
- ・食文化から考える食育の取り組み
- ・学校裏サイト問題
- ・郷土の歴史教育について

平成19年 12月議会

- ・過激な性教育のについて
- ・小学校の英語教育の促進
- ・地域開発と子供の安全について
- ・少子化から考える複合学校の提案
- ・国旗・国歌の指導について
- ・青少年の深夜徘徊問題と健全育成

2～3月の活動（抜粋）

2月

- 1日（金）府議会議員と懇談、市民相談
- 2日（土）インターン生と会議・青雲啓発塾
- 3日（日）京都市長選挙応援
- 4日～6日 行政視察（世田谷区、杉並区）
- 7日～8日 行政視察（尾道市、倉敷市）
- 9日（土）SA 吹田国際交流（吹六小）、市民会議
- 10日（日）京都市長選挙応援
- 11日（月）建国記念式典（伊射奈岐神社）
- 12日（火）街頭演説・教育委員会レクチャー
豊中市議と懇談・保護者との意見交換会
- 13日（水）街頭演説・リサイクルセンター視察
- 14日（木）街頭演説・吹田第一中学校視察
関西若手議員の会（柏原市）
- 15日（金）街頭演説・吹田南小学校訪問
- 16日（土）京都市長選挙応援
- 18日（月）街頭演説・千一小学校ボランティア
- 19日（火）街頭演説・個人情報保護審議会
- 20日（水）街頭演説・北山田小学校訪問
国際交流協会評議会・男女共同参画レクチャー
- 21日（木）街頭演説・障害者作業所視察
障害者自立支援法と介護保険レクチャー
- 22日（金）福井県立藤島高等学校にて講演
- 23日（土）府の財政改革について勉強会
- 25日（月）青山台中学校訪問・予算要望回答
生活保護レクチャー・モラロジー勉強会
- 26日（火）わかたけ園視察・山田第二小学校訪問
PHP 哲学研究会
- 27日（水）あいほうぶ吹田視察・高野台中学校訪問

3月

- 3日（月）いじめ問題について市民と懇談
- 4日（火）本会議開会
- 7日（金）公開授業を参観、日中問題勉強会
- 8日（土）「沖縄集団自決冤罪訴訟」報告の集い
- 11日（火）本会議代表質問
- 12日（水）本会議代表質問
- 13日（木）本会議個人質問
- 14日（金）本会議個人質問
- 15日（土）街づくり吹田塾・青雲啓発塾
- 16日（日）個人演説会司会
- 17日（月）文教委員会
- 18日（火）文教委員会
- 19日（水）文教委員会
- 21日（金）街頭演説・政治懇談会
- 22日（土）PHP 夢サポート塾
- 24日（月）街頭演説
全国都市改善改革実践事例発表会
- 25日（火）街頭演説・ポスティング
PHP 哲学研究会・モラロジー勉強会
- 26日（水）街頭演説・ポスティング
議員勉強会（京都）
- 27日（木）街頭演説・行政レクチャー
- 28日（金）街頭演説・本会議閉会
議員勉強会（京都）
- 29日（土）議員勉強会（大阪）
- 30日（日）モラロジー研究会・国会議員講演会

吹田の自慢！～吹田市の水泳教育～

吹田市の小学生の泳力は全国でもトップレベル！！目標は、小学校6年間で平泳ぎ200mを泳ぎ切ることで、小学6年生児童のうち90%以上がこれを達成しています。このような目標を達成することで、子供たちは自己実現できた満足感を得ることができ、自分に自信を持てるようになります。

吹田市では、大正12年、吹田第二小学校に近代的なプールが作られ、戦前から水泳大会や臨海学習が行われるなど、古くから水泳が広く浸透していました。この吹田市の「水泳の達成率90%以上」を、現在ギネスに申請中です！



ホームページは活動報告や雑感などを載せ、毎週更新しております。
そのほか、学校訪問ブログや月1回更新のアンケートなども実施しており、皆様からのご意見もお寄せいただけるようにしておりますので、是非一度のぞいてみて下さい。

<http://www.kamiyasohei.jp>

